

このニュースは東京都レンジャーの活動や、自然の情報などを皆様へお伝えするものです。

東京都レンジャーとともに自然公園を守る！ 強力な味方“サポートレンジャー”大活躍！

東京都レンジャーが行う自然公園を守る活動は、熱い市民ボランティア、サポートレンジャーの皆さんに支えられています。1年間を振り返ると、登山道の補修や倒木、枯枝の処理、利用マナーをPRする活動、指導標や休憩施設のメンテナンスなど、本当に様々なシーンで、現場で、東京都レンジャーと一緒に汗を流して、ご活躍頂きました。自然公園に訪れる方への思いやりと自然を大切にする気持ちに溢れた熱くて頼もしい仲間。サポートレンジャーへのエールをお願いします！



登山道の補修



沢筋の清掃および整備



イベント時のPR活動



施設の補修や調査

※サポートレンジャーになるには？

東京都が開催する「サポートレンジャー認定講座」を受講修了する必要があります。今年度も新しい受講生が講座を修了し、まもなく現場で活躍されます。気になる方は 東京都 環境局 自然環境部 緑環境課 自然公園担当 にお問い合わせください。

サポートレンジャー会長にインタビュー



高尾サポートレンジャー会
川原田稔 会長

「作業中でも巡回中でも利用者に笑顔で挨拶し、コミュニケーションを取る姿」が高尾サポートレンジャー会の本領発揮だと自負しています。平日でも多くの利用者が訪れる高尾山・景信山・陣場山とその周辺、登山道整備で作業を中断して、利用者への安全配慮することは日常茶飯事です。往来する皆さんの感謝・励ましなどが嬉しく、案内、活動や会の紹介ができ、まもる仲間を増やし、コミュニケーションを図る良い機会となっています。私たち、自然公園ボランティア活動の醍醐味といえます。

「私たちを見掛けたら、
ぜひお声がけください！」

私たち奥多摩サポートレンジャー会では東京都レンジャーを補佐するため、登山道巡視や施設点検、動植物調査、地域貢献活動を行っています。最近では奥多摩山域の遭難件数が少しでも減るように、道迷いの予見・防止にも注力しています。豊かな自然を楽しみに訪れる方々を「ようこそ奥多摩へ」とお迎えできるように、これからも永く貢献していきます。



奥多摩サポートレンジャー会
木村信也 会長

山岳事故の実態をより深く学ぶために…

先日、山岳遭難の実態をより深く知るために山岳遭難者の搜索活動を行っている方をお招きし、講習会を行いました。遭難者の傾向や実際に起きた事例のほか、搜索要請があった場合にどのような搜索が行われていくかなど山岳事故の裏側を学ぶことで身が引き締まる思いがしました。レンジャーである私たちも、慣れているからと油断せず、万が一を考えた装備、行動を心がけつつ、より安全な登山の普及啓発を行っていきます。



講習会の様子



山岳事故は“道迷い”が起因となる場合が多く、事故に遭う人の特徴は登山歴が5年未満か10年以上の単独行が多め。初心者、経験者問わず「自分は大丈夫」という過信が事故を招いているんだ。

多摩地域の自然公園で出会う哺乳類の動物たち！

多摩地域の自然公園を歩いていると様々な動物たちに出会います。中でも哺乳類の動物たちとの出会いは心に残り、良い思い出になることでしょう。

写真の動物は巡視中に出会えた動物たち。出会うコツは朝早く登り始めること。朝早くから登れば下山も早くなり、安全登山にもつながり一石二鳥です。逆にニホンザルやニホンイノシシやツキノワグマが怖いな、出会いたくないな…という方は朝夕を避けたり、鈴、ラジオ、話し声などでこちらの存在を動物たちに知らせることが大切です。



ニホンザル



ニホンリス



ニホンカモシカ



ニホンイノシシ



ニホンジカ

Instagram 『Tokyo Natural Parks』
自然公園の情報を発信中！

R 東京都レンジャーの業務

- 1 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
 - 2 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 - 3 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 - 4 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551